

奈良市協働のQ&A

vol.4

「対等」であることは重要ですが、実際に「対等」であるためには、どのようなことに気をつければいいのでしょうか。「対等」ということについて、あらためて考えてみましょう。

Q4

協働における「対等」ってどういうこと？

A4

協働における「対等」っていうのは、上下の関係じゃなくて、横の関係なんだよ。同じ目的をめざすパートナーとして、なんでも言い合える関係でいることをいうんだ。

そのためには、緊張感を保ちながら、それぞれお互いが**自覚と責任**を持って事業をやりとげる必要があるよ。

また、協働によって得られた成果は、どちらか一方だけのものにするんじゃなくて、協働しているパートナー同士で共有することが重要だよ！



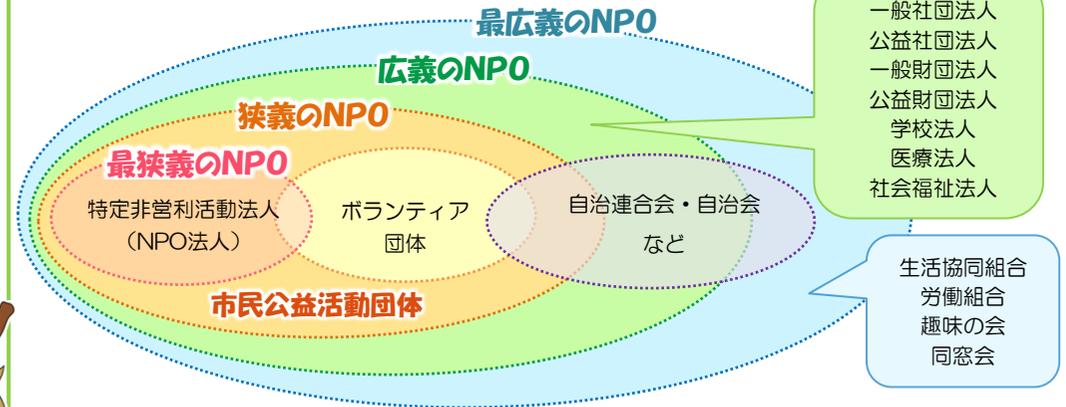
どちらかが遠慮して意見を言えなかったり、どちらかだけが責任や負担を抱えるのも「対等」な協働とは言えないだね。「対等」であるためには、常に自分と相手が今どんな関係でどんな状態にあるかを意識しておこう！

市民公益活動団体って何だろう？

市民公益活動団体とは、市民が、自らの意志で、特定の個人のためではなく、みんなのためになることを目的に活動する（**市民公益活動**）団体のことだよ。自治会のような地域自治組織やNPO、NPO法人、ボランティア団体などが含まれているんだ。

近年NPOっていう言葉が広がって、「NPO=NPO法人」だと思われていることも多いけど、**NPO**（Non Profit Organization）は、直訳すると「**非営利組織**」という意味で、株式会社などの営利を追及する企業とは違い、**営利を目的とせず、社会の問題を解決するために活動する組織**をさしているんだよ。また、下の図のように、もっと広い意味を含んでる場合もあるんだ。

ちなみに、**NPO法人（特定非営利活動法人）**とは、最狭義のNPOをさして、特定非営利活動促進法によって所轄庁（奈良市の場合は奈良県）で認証され、法人格を持った団体のことをいうんだよ。NPOの中のNPO法人やボランティア団体については、また次回第5回で詳しくお伝えするね！



『地域のニーズに合った地域主体のまちづくり』を行うために、現在、それぞれの地域の中でも、自治連合会を中心に、各種団体との協働と連携を図るための取り組みを進めようとしているよ！

そのためには、**市役所内部の連携システム**や、**地域をサポートするための体制整備**についても、考えていかなければならないね！

NEXT! Q5 まず市職員は何をすればいいの？

…さあ協働を始めよう！って、まず市の職員は何からスタートすればいいの？